

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア
ー農林水産省委託事業 日本食・食文化の魅力発信プロジェクトー
特別ショートフィルム『しゃぶしゃぶスピリット』
日本食をテーマとしたショートフィルム全5作品による『和食プログラム』
3月25日(水)よりWEBにて世界無料配信

米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭 ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(以下SSFF & ASIA)は、日本食・食文化の魅力を国内外に発信することを目的として、特別ショートフィルム『しゃぶしゃぶスピリット』を製作しました。物語は、結婚の挨拶にやってきた娘の彼氏が、旦那にふさわしい男かどうか、しゃぶしゃぶの食べ方を通して父親が値踏みをするというコメディタッチの作品です。

また、「和食プログラム」として、日本食をテーマとしたショートフィルムをセレクト。日本食の中で最もポピュラーなお寿司のアニメーション作品、世界的なブームとなっているラーメン屋が舞台となった作品、日本スタイルの居酒屋の一日を描いた作品などの全5作品です。

『しゃぶしゃぶスピリット』と「和食プログラム」は、3月25日(水)より世界に向けてWEBにて無料配信します。また、『しゃぶしゃぶスピリット』は、2015年5月1日(金)からイタリア・ミラノにて、「地球に食料を、生命にエネルギーを」をテーマに開催される「2015年ミラノ国際博覧会」の中でも上映を予定しております。

日本語サイト：<http://www.shortshorts.org/shabu-shabu-spirit/>

英語サイト：<http://www.shortshorts.org/shabu-shabu-spirit/index-en.html>



平成25年12月、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。南北に長く、四季が明確な日本には多様で豊かな自然があり、そこで生まれた食文化もまた、これに寄り添うように育まれてきました。このような、「自然を尊ぶ」という日本人の気質に基づいた「食」に関する「習わし」は日本が守るべき「文化」です。本企画では、世界で高く評価されている日本食・食文化をテーマとしたショートフィルムを、日本食・食文化の魅力を発信、さらには日本産品輸出拡大のためのプロモーションに活用します。

報道関係の皆様におかれましては、告知にぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【本発表に関するお問い合わせ先】

ユース・プランニング センター 担当：白岩(070-6469-1245)・音部(090-2316-7879) TEL: 03-3486-0575 / FAX: 03-3499-0958
 e-mail : ssffasia2015@yppcr.com

【ショートショート フィルムフェスティバル & アジアに関するお問い合わせ先】

ショートショート実行委員会 担当：高橋(090-3049-1284) 加賀矢間
 TEL: 03-5474-8201 / FAX: 03-5474-8202 e-mail : press@shortshorts.org

『しゃぶしゃぶスピリット』概要

■作品タイトル:『しゃぶしゃぶスピリット』

■作品時間:10分32秒

■キャスト:

平田満 父:杉本正蔵 役・・・頑固で食にうるさく、すぐ妄想に浸り自分の世界に入ることが多い。

渡辺大 娘の彼氏:田中慶太 役・・・幸子とは大学時代からのつきあい。非常な好青年だが、すこし抜けている。

森田彩華 娘:杉本幸子 役・・・OL。杉本家の一人娘のため頑固になってきた父に強気に出ることが多い。

竹内晶子 母:杉本良子 役・・・杉本家の母。父との仲は良いが、基本的には娘の味方。

■監督:Yuki Saito

■制作プロダクション 株式会社and pictures

■作品コンセプト

和食文化の魅力を、短い時間にエンタテインメント性が凝縮されたショートフィルムで表現。

今回は、「しゃぶしゃぶ」にフォーカスを当て、食とともに「作法」という文化も広く発信をするべく製作いたしました。

■ストーリー

娘の彼氏が結婚の挨拶にやってきた。娘の旦那にふさわしい男かどうか、正蔵の密かな値踏みが始まる。同じ鍋をつつき距離を縮めさせようと、母が用意したしゃぶしゃぶ。正蔵の目が光る中、慶太はしゃぶしゃぶに手を伸ばす。

■配信:3月25日(水)より

※字幕付き

※ 2015年5月1日から10月31日までイタリア・ミラノで開催される「2015年ミラノ国際博覧会」の中でも上映予定



※上記がメイン写真です



■キャストプロフィール



平田 満(ひらた みつる)

1953年、愛知県生まれ。大学在学中につかこうへい氏と出会い、舞台「蒲田行進曲」等で評判を博す。続いて映画版にも出演。日本アカデミー賞最優秀男優賞など82年度の賞を総なめに。また、舞台でも'01年に読売演劇大賞最優秀男優賞、'14年に紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。近年の出演作として映画『八日目の蟬』('11)、『臨場-劇場版-』('12)、『悼む人』('15)など。最新作に『ズタボロ』('15、5月公開)がある。



渡辺 大(わたなべ だい)

1984年8月1日生まれ。東京都出身。テレビ東京「壬生義士伝～新撰組でいちばん強かった男」で俳優デビュー。その後も、大河ドラマ「武蔵」、「功名が辻」に出演し、NHK「足尾から来た女」(石河啄木役)、テレビ朝日「臨場」、映画「ロストクライム」(伊藤俊也監督)、『るろうに剣心 京都大火編』(大友敬史監督)などテレビドラマ、映画と多数出演している。2015年7月末に放送予定のNHK BSプレミアム「独眼竜花嫁道中」では、主演として伊達正宗公姿から白無垢姿までを演じている。



森田 彩華(もりた あやか)

1988年12月26日生まれ、千葉県出身。2002年「第8回全日本国民的美少女コンテスト」に出場。映画『三本木農業高校馬術部』、『少女たちの羅針盤』に出演、また、テレビドラマ、舞台で活躍中。『新宿スワン』(園子温監督、5月30日公開)、『お母さんの木』(磯村一路監督 6月6日公開)、『ラブ&ピース』(園子温監督 6月27日公開)など公開作品が続々と控えている。



竹内 晶子(たけうちあきこ)

東京女子大在学中、故如月小春氏と出会い演劇を始める。10年に渡る劇団活動を経てフリーに。その後、TVドラマ、CMなどに多数出演。2010年、セーラー服姿で中学生に成りすまし、マスクを取ると「実は50なの！」と叫ぶ西友のCMが巷で話題に。2012年、市川徹監督の映画『万年筆』で初主演を果たし、同年、氷見絆国際映画祭最優秀主演女優賞を受賞。富山県に映像制作会社を設立、映像製作や俳優育成に携わっている。また俳優トレーナーとして20年以上のキャリアを持つ。偶然にたよらない俳優の演技の質の向上をめざしている。現在公開中の映画『ソロモンの偽証』では、メインキャストの演技指導を担当。

■監督プロフィール



Yuki Saito(ゆうき さいとう)

Columbia College-Hollywood映画学科卒業。高校卒業後に渡米し、ハリウッドで8年間映画を学ぶ。初監督作品の『TRIANGULATION POINT』が、ショートショートフィルムフェスティバル2004にて「観客賞」「審査員奨励賞」をW受賞後、世界6カ国12の映画祭で上映される。卒業後は、文化庁在外研修員として『24』のプロデューサー、ノーマン・パウエル氏に師事。2006年帰国後は、アレハンドロ・ゴンザレス・イニャリトゥ『バベル』など数多くの一流監督のもとで活動をする一方、2010年、『Re:Play-Girls』で劇場長編映画デビューを飾る。短編映画『胸にTATTOOなんかいれて』(主演:鈴木砂羽)はショートショートフィルムフェスティバル & アジア2013で「観客賞」(※過去3度目)受賞。ネスレアミューズ映画祭にて「ネスレ日本特別賞」を受賞後、特別製作作品としてネスレシアターにて「あのときのFlavor…」(主演:芦名星)を発表。2012年には、被災地のペット達の救援活動をドキュメントした『インスタントペットハウス』がカンヌ国際広告祭「Direct部門」でシルバーとブロンズ、「Design部門」でもブロンズを受賞するなど、各国の広告祭で計10個のトロフィーを獲得。また、2014年、サンシャイン水族館『ペンギンナビ』がカンヌ国際広告祭「Design部門」でゴールドを受賞。2013に「Mobile部門」でもシルバーとブロンズを受賞しており、3年連続受賞を達成しCM監督としても活躍中。

和食プログラム(全5作品)概要



和食プログラム選定者:吉田真希子(美食アドバイザー・フードスタイリスト)
1991年『カネボウ・サラ』の初代イメージガールとして芸能界デビュー。
02年にはフランス料理名門校である「ル・コルドン・ブルー」で、
デュプロム免許を取得。タレント業とともに「美食アドバイザー」としても活動。

吉田真希子さんコメント

多数の作品を観た中で、ショートフィルムの味わい深く、凝縮された面白さを感じるとともに、何より日本食の魅力が感じられる5作品を選ばせて頂きました。ぜひ多くの方にご覧になって頂きたいです。

■和食プログラム:日本食をテーマとし選定された5作のショートフィルム

■配信:3月25日(水)より

※字幕付き



世界中で大変なブームとなっているMADE IN JAPANのラーメン。その勢いは雑誌の特集やマンガの題材になるほど。一杯のラーメンの中にひろがる多様性が垣間見える。

『箸とラーメンとロマンス』(Noodles)

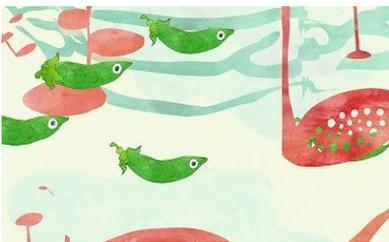
監督: Jordan Feldman / フランス / 2004 / ロマンス / 5:30
フランスは立ち寄った和食レストランで、恋に落ちた。



外国人観光客にも大人気の日本スタイルの居酒屋。「食」がつなぐ人と人とのつながりが見える。新井浩文出演。

『居酒屋はがくれ「店主敬白」』(Izakaya HAGAKURE)

監督: 金田初彦 / 日本 / 2012 / ドラマ / 11:00
住宅街の片隅で地道に営業を続ける小さな居酒屋の普段と変わらないとある1日を淡々と描く。店主の仕事に込めた思いとは...



日本の代表的な家庭料理の一つでもある「煮しめ」。人が集まる時のふるまい・もてなし料理でもあり、本作の中では母から子へ、伝承される。まさに「おふくろの味」なのだ。

『おにしめ おたべ』(Fully cooked for you)

監督: 今林由佳 / 日本 / 2011 / アニメーション / 3:44
家族の為に煮しめを作る母親と、その過程を横でみている子ども。登場人物はきぬさや、にんじん、ごぼう、こんにやくなどの動物たち。親子の会話と、生きる食材の世界は、料理という時間の中でつながる。



海外の鉄板焼きレストランで働く日本人シェフが主人公。鉄板とヘラを巧みにあやつる職人芸に外国人の子供も大喜び。外食産業での日本食の流行をつぶさに感じ取ることができる。

『鉄板焼きシェフ』(Teppanyaki)

監督: Matthew Fisher / アメリカ / 2014 / ドラマ / 10:34
「もののあわれ」- 失ってしまった喜びと、それを再発見する様子を、鉄板焼きレストランのシェフの目を通して描く。



日本食の代名詞でもある「寿司」のロードムービー。

『寿司ラブストーリー』(A Sushi Love Story)

監督: Mike Blaney / アメリカ / 2010 / アニメーション / 2:00
寿司ロールが、恋焦がれる外の世界の狭間で悩む...